入札説明書

１　告示日

　　平成２９年８月１７日（木）

２　契約担当部局

〒０６０－８６１１　札幌市中央区北１条西２丁目

札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課

電話（０１１）２１１－２２５３　　ファクス（０１１）２１８－５１５６

３　入札に付する事項

⑴　役務の名称

　　「地域活動への参加呼びかけ参考書」制作業務

⑵　調達案件の仕様等

　　　町内会活動などの地域活動への参加を呼びかける際に役に立つよう、呼びかけの手順や気を付けなければいけないこと、呼びかけの成功例、想定される質問への回答例、先進事例等を掲載した冊子を制作する。

　　　制作にあたっては、「地域まちづくりビジョン」の策定支援を行った地域（5か所程度を想定）と編集会議の準備と運営を行い、意見をとりいれ、確認のやりとりを行うこと。なお編集会議を行う地域との調整、参加者のとりまとめは委託者が実施する。また、先進事例については他地域で参考になると思われる地域（3か所程度と想定）を選定・取材を行ったうえで十分なやりとりをすること。

　　　仕様書は別紙のとおり。

⑶　履行期間

契約書に示す着手の日から平成30年1月31日（水）まで

　⑷　入札書の記載方法

　　　総価で行う。なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の８％に相当する額を加算した金額(当該金額に１円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。) をもって落札金額とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の１０８分の１００に相当する金額を入札書に記載すること。

４　入札参加資格

　⑴　地方自治法施行令第１６７条の４の規定に該当しない者。

　⑵　会社更生法による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされている者（手続開始決定後の者は除く。）等経営状況が著しく不健全でない者。

　⑶　事業協同組合等の組合がこの入札に参加する場合は、当該組合等の構成員が、構成員単独での入札参加を希望していないこと。

⑷　札幌市競争入札参加停止等措置要領（平成14年4月26日付け財政局理事決裁）に基づく参加停止措置を受けている期間中でない者。

⑸　平成27～29年度札幌市競争入札参加資格者名簿（物品・役務）において、業種が大分類「一般サービス業」、中分類「情報サービス、研究・調査企画サービス業」に登録のある者。

⑹　業務を担当する事業所（本店・支店等）が札幌市内にあること。

⑺　過去5年間に官公庁が発注した同様の業務（編集会議やワークショップ等を通して、地域の意見をとりいれ、冊子等の制作を行うなどの業務）の履行実績がある者。

５　入札書の提出方法等

⑴　契約条項を示す場所及び問い合わせ先

上記２に同じ。

　⑵　入札の日時及び場所

　　　平成２９年９月１２日（火）１１時００分

　　　札幌市市民文化局会議室

（札幌市中央区北１条西２丁目　札幌市役所１３階南側）

⑶　入札書の提出方法

入札書は、別紙１の様式にて作成し、上記⑵の指定日時及び場所において、直接入札箱へ投函（紙入札方式）すること（送付及び電送による提出は認めない）。

⑷　調達案件の仕様等に対する質問および回答

ア　提出方法

　書面による持参、送付又はファクシミリにより提出すること。

イ　提出先及び提出期限

上記２の契約担当部局へ、上記１の告示の日から平成２９年９月５日までの午前８時４５分から午後５時１５分までの間で提出すること。

ウ　回答書の閲覧

平成２９年９月６日以降、上記２の契約担当部局にて閲覧に供するとともに、局ホームページに掲載する。

　⑸　入札の無効

ア　本説明書に示した競争参加資格のない者のした入札、入札に関する条件に違反した者のした入札その他札幌市契約規則第１１条各号の一に該当する入札は無効とする。

イ　札幌市物品・役務契約等事務取扱要領第１３条に定める入札参加資格の審査書類の提出の指示があったにもかかわらず、指定された期日までに当該書類の提出がなされなかったときは、当該入札は無効とする。

　⑹　入札の延期等

次のいずれかに該当したときは、当該入札を延期し、中止し、又はこれを取り消すことがある。

ア　入札者が相連合し、又は不穏の挙動をする等の場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき。

イ　天災その他やむを得ない事情が発生した場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき。

ウ　調達を取りやめ、又は調達内容の仕様等に不備があったとき。

　⑺　代理人による入札

ア　代理人が入札する場合には、入札書に競争入札参加資格者の氏名又は名称及び住所並びに代理人であることの表示、及び当該代理人の氏名を記入して押印（外国人の署名を含む。）をしておくとともに、入札時に代理委任状（別紙２）を提出しなければならない。

イ　入札者又はその代理人は、本調達に係る入札について他の入札者の代理人を兼ねることができない。

⑻　開札

ア　開札は、入札後直ちに上記５⑵の場所において、入札者又はその代理人を立ち会わせて行う。

イ　入札者又はその代理人は、入札時刻後においては、入札場に入場することはできない。

ウ　入札者又はその代理人は、入札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は入札権限に関する委任状（別紙２）を提示しなければならない。

エ　入札者又はその代理人は、入札執行職員又はその補助者が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、入札場を退場することができない。

オ　開札をした場合において、入札者又はその代理人の入札のうち、予定価格の制限の範囲内で、最低制限価格以上の価格の入札がないときは、再度の入札を行う。この場合において、最低制限価格を設定している場合に、これを下回った入札をした者は、再度の入札に参加できない。なお、再度入札の回数は、原則として２回を限度とする。

６　その他

　⑴　入札保証金

免除

⑵　契約保証金

要

契約を締結しようとする者は、契約金額の１００分の１０に相当する額以上の契約保証金又はこれに代える担保を、落札決定の日の翌日から起算して５日後（５日後が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日）までに納付しなければならない。なお、指定期日までに納付がなかった場合には、落札決定を取り消すとともに、札幌市競争入札参加停止等措置要領の定めに基づき参加停止の措置を行う。

ただし、札幌市契約規則第２５条各号の一に該当するときは、契約保証金を免除することがある。

⑶　最低制限価格の設定

無

⑷　落札者の決定方法

ア　落札者の決定

札幌市契規則第７条の規定の規定に基づき作成された予定価格の制限の範囲内で、最低価格をもって有効な入札（有効な入札に限る。）をした者を落札候補者として、落札保留のうえ下記ウの審査を行い、その結果、入札参加資格を有する者と確認できた場合に、当該落札候補者を落札者とする。

イ　同額抽選

落札候補者となるべき同価の入札をした者が２人以上あるときは、直ちに、当該入札者にくじを引かせて落札候補者の審査の順位を決定するものとする。この場合において、当該入札者又はその代理人がくじを直接引くことができないときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない職員がくじを引くものとする。

ウ　入札参加資格の審査

落札の決定を保留した後、落札候補者が、入札参加資格を有する者であるかを審査するので、落札候補者は、入札執行者の指示があった日（原則として開札日）の翌日から起算して３日以内（土曜日、日曜日及び休日を除く。）に、上記４に掲げる競争入札参加を有することを証する書類(別記１｢一般競争入札参加資格確認申請書｣参照)を提出しなければならない。なお、指定期限までに提出がない場合は、当該落札候補者を、入札参加資格のない者のした入札とみなし無効とする。

エ　入札参加資格を有しなかった者の取扱い

上記ウの審査の結果、落札候補者が、入札参加資格を有しない者であることを確認した場合は、その者の入札を無効とする。この場合において、予定価格の制限の範囲内で、最低の価格をもって入札（有効な入札に限る。）した者を、新たな落札候補者として、上記ウの審査を行う。以後、落札者が決定するまで同様の手続を繰り返す。

⑸　入札者に要求される事項

ア　この一般競争入札に参加を希望するものは、上記４に掲げる競争入札資格を有することを証明する書類（別記１参照）を、入札関係職員の求めに応じ提出しなければならない。また、当該書類に関し説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

イ　入札参加者は、本入札説明書、仕様書、契約書案等について、疑義がある場合は、関係職員に説明を求めることはできるが、入札後は、これらの不明を理由として異議を申し出ることはできない。

⑹　落札の取消し

落札者が次のいずれかに該当するときは、当該落札を取り消すものとする。

ア　契約の締結を辞退したとき、又は市長の指定した期日内に契約を締結しないとき。

イ　契約保証金の納付義務のある者が、指定する期日までに、契約保証金の納付がなかったとき

ウ　入札に際し不正な行為をしたと認められるとき。

エ　その他入札に際し入札参加の条件に欠けていたとき。

⑺　契約書の作成

ア　競争入札を執行し、契約の相手方を決定したときは、原則としてその５日後までに契約書を取り交わすものとする。ただし、契約保証金の納付義務がある場合は、その納付が確認された後とする。

イ　契約書を作成する場合において、契約の相手方が遠隔地にあるときは、まず、その者が契約書の案に記名押印し、更に市長が当該契約書の案の交付を受けてこれに記名押印するものとする。

ウ　上記イの場合において市長が記名押印したときは、当該契約書の１通を契約の相手方に送付するものとする。

エ　市長が契約の相手方とともに契約書に記名押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

⑻　契約条項

別紙3のとおり

⑼　入札参加資格が認められなかった者に対する理由の説明

入札参加資格が認められなかった者は、本市に対して入札参加資格が認められなかった理由について、原因となった事実を知り、又は合理的に知り得たときから１０日以内（札幌市の休日を定める条例に定める休日を除く。）に、次に従い、書面（様式は自由）により説明を求めることができる。

ア　提出場所

上記２に同じ。

イ　その他

提出は持参又は送付することにより提出するものとし、電送によるものは受け付けない。